



～障害のあるかたが地域の一員として暮らすために～ グループホームは大切な「住まい」です。



グループホームとは、身体障害・知的障害・精神障害などのあるかたが、共同で生活する「住まい」です。マンションや、一戸建ての住宅を借りるなどして同居し、支援スタッフなどのサポートを受けながら暮らしています。

親元や施設を離れて、地域で暮らしたいと思っている障害者のかたにとって、グループホームは、その一歩となる大切な「住まい」です。しかし最近、グループホームを開所するに当たり、地域のかたから不安の声や、反対の声が上がるケースが発生しています。

障害のあるかたが、地域の一員として暮らすためには、みなさんのご理解とご協力が必要です。今回は、グループホームでの暮らしについて紹介します。この機会にぜひ、グループホームについて知ってください。

グループホームはこんなところですよ！

例えば… NPO法人 プラスWeが運営する
グループホーム「スプリング」の場合

一戸建ての賃貸住宅を借りて、障害のあるかた4人が、支援スタッフのサポートを受けながら共同生活しています。できる限りの家事を入居者が自ラ行い、曜日を決めて順番に洗濯をするなど、みんなで協力しながら暮らしています。

入居者のある一日

- 7:00 起床
- 7:30 朝食、身支度
- 8:30 就労先へ出勤
- 18:00 帰宅
- 18:30 夕食
- 19:30 洗濯、入浴
- 20:30 余暇時間
- 22:00 就寝



入居者が働いている日中以外は、1人以上の支援スタッフが常駐しています。



インタビュー 支援スタッフに聞きました！

● 始めたきっかけは？

子育ての合間にできる仕事を探していたときに、知人の紹介でこの仕事を知りました。家から近く、時間の融通も利くので、条件はぴったりでした。

● 仕事の内容は？

夕方の2～3時間で、食事の準備や、生活用品の在庫管理などを行っています。いつもの家事を仕事に生かせるのが魅力だと思います。

● うれしかったことは？

少しずつコミュニケーションを深めるなかで、「おいしい料理をありがとう」という言葉をもらったときはうれしかったですね。率先して手伝いをしてくれるようにもなりました。入居者からもらった手描きの絵は、私の宝物です。



田中暁子さん
2017年4月から活躍中



田中さんが入居者からもらった手描きの絵

インタビュー 入居者に聞きました！

● 入居のきっかけは？

いつか自立したいと思っていましたが、一人で暮らすのは不安でした。そんなときにグループホームのことを知り、みんなと一緒に頑張れると思い、入居を決めました。

● 入居して良かったことは？

自分で部屋をきれいにするのが楽しくて、掃除が大好きになりました。散歩という新しい趣味もできました。みんな仲が良く、良いスタッフにも恵まれて、毎日楽しく過ごしています。



中川淳也さん
2019年4月から入居中

資格不要！ 空いた時間に少しくOK！

支援スタッフを募集しています

家事の延長でできる仕事内容で、短時間から勤務できます。お近くのグループホームをご案内しますので、まずは障害福祉室(☎727・9506)へお電話ください。

男性スタッフも活躍しています！



不動産会社からこんな声も！ グループホーム「スプリング」と家主さんを仲介した吉田直子さん

仲介に当たっては、一人ひとりの入居者や、支援体制などについて、ホームを運営する事業者さんから事前に丁寧な説明があり、これなら自信を持って家主さんに紹介できると思いました。実際、家主さんからの評判も良く、「とてもきれいに使われている」などの言葉をいただいています。

家主さんにとってグループホームは、行き届いた支援体制のもと、長期で安定して居住してくれる、とても良い借主さんだと思います。市内にグループホームが増えるよう、今後もどんどん働きかけて行こうと考えています。

上記を含め、市内62カ所にグループホームがあり、約170人のかたが生活しています。

障害があるかたにとって、グループホームは、「親元や施設を離れて、地域で暮らしたい」という思いに応えてくれる、とても大切な「住まい」です。一方、その「住まい」での暮らしは、支援スタッフはもちろん、ご近所さんや家主さんなど、地域のみなさんの支えによって成り立っています。この機会に、グループホームについて知っていただき、ぜひご理解とご協力をお願いします。

グループホームについて、詳しくは障害福祉室(☎727・9506)へお電話ください